教育委員会会議録

令和2年12月8日定例会

名古屋市教育委員会定例会

令和 2 年 12 月 8 日
午後 3 時 00 分
教育委員会室

議 事

- 日程 1 第 24 号議案 押印の廃止に関する規則案について
- 日程 2 第 25 号議案 名古屋市公立学校教職員人事異動基本方針について
- 日程 3 第 26 号議案 名古屋市美術館協議会委員の委嘱について
- 日程 4 第 27 号議案 教職員人事

出席者

鈴木 誠 二 教育長
小栗 成 男 委 員
船津 静 代 委 員
西淵 茂 男 委 員
中谷 素 之 委 員

教育次長始め、事務局員 7 名 ※傍聴者 0 名

(鈴木教育長)

それでは、ただ今から教育委員会定例会を開催いたします。

はじめに議事運営についてお諮りいたします。

議事日程第 3「名古屋市美術館協議会委員の委嘱について」と議事日程第 4「教職員人事」につきましては、名古屋市教育委員会会議規則第 6 条の規定に基づきまして、非公開にて審議したいと思います。

また、会議録につきましても日程第 3 と日程第 4 については非公開としたいと存じますが、いかがでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

ではこれより、日程第1第24号議案「押印の廃止に関する規則案について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(櫻井総務課長)

それでは日程第1第24号議案「押印の廃止に関する規則案について」ご説明をさせていただきます。資料をご覧ください。

この規則は、これまで、教育委員会において、押印を求めていた行政手続について見直しを行い、押印を廃止するものです。

国の規制改革推進会議におきまして、新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中、書面主義、押印原則、対面主義に関する官民の規制・制度や慣行の見直しに取り組むこととされました。

地方公共団体におきましても積極的な対応が望まれる中、本市においても、全庁的に慣行の見直しを行い、押印の必要性を厳しく検証し、真に必要な場合を除き、押印を廃止することといたしました。

そもそも、押印が求められている趣旨は、本人確認、文書作成の真意の確認、文書内容の真正性担保、これは証拠としての担保価値ということでございますが、押印によらずともこれらの目的を達することができるものについては、原則として押印を廃止してまいります。

資料の「2 主な内容」でございます。今回の押印廃止規則は第1条から第3条までの各条で構成をされておきまして、それぞれの条で関係規則の改正を行っております。

(1)、第1条関係でございますが、「名古屋市入学準備金条例施行規則等の一部改正」でございます。

この内容につきましては、それぞれ規則に定められております申請者等の押印欄を削除するというものにつきまして、8規則、全31様式について一括でまとめて削除するという条文になってございます。

資料を1枚めくっていただきまして、「別紙（第1条関係）」をご覧ください。

別紙につきましては、裏面に渡りまして、「1 名古屋市入学準備金条例施行規則」から裏面にまいりまして、「8 名古屋市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則」の8規則につきまして、それぞれの様式につきまして押印箇所について削除するものでございます。

続きまして、議案の1枚目にお戻りください。

「主な内容」の(2)でございます。

「名古屋市教育委員会公印規則の一部改正」でございます。

第2条におきまして、改正を行っております。これまで公印使用の手続において求めておりました、公印を使用する者、公印を管守する者等の押印を廃止いたします。また、手続規定を見直し、様式を「公印使用認可簿」から「公印使用記録簿」に改めるものでございます。

続きまして、「(3) 名古屋市教育委員会聴聞規則の一部改正」でございます。

これにつきましては行政手続法に定めるところにより、不利益処分を科す相手方に意見を述べさせる聴聞手続に関しまして、聴聞調書及び報告書に求められていた聴聞の主宰者の記名押印を廃止いたします。

なお、(2) 及び (3)、公印規則及び聴聞規則につきましては、市長部局が所管する「名古屋市公印規則」及び「名古屋市聴聞規則」においても同様の改正が行われております。

今回の規則改正によりまして、教育委員会規則において定められている押印は、印鑑証明付きの実印を求める必要があるものを除き、全て廃止されることとなります。

その他現在、要綱、基準等において定められている押印につきましても、順次見直しを行っているところでございます。

規則の施行期日でございますが、本日、この改正内容をお認めいただいたあと、公布の手続きを取りまして、公布の日から施行するという予定でございます。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はありませんか。

(小栗委員)

私の記憶によると河野さんかな。押印を廃止すると言ったのがちょっと前で、あれからバタバタ動かれたのか、もしくは元々文科省の中ではそういった意見がこれまでもあって、もしくは本市の中でもあって、それで背中を押していただいたようなこともあってこのような素早い動きとなったのか。そのプロセスを教えてください。

(櫻井総務課長)

小栗委員がおっしゃるとおり、国の動きに合わせてそのスケジュール感で臨んでいるというものでございます。国の方は今、11月末まで、遅くとも12月末までには押印というものを見直し、行政の効率化というようなことでございますので、各自治体、本市もそうですが、それに合わせてこの手続きを急遽進めているところでございます。

(小栗委員)

霞が関の中で以前そういった議論があったというふうに思っというのか、いきなりじゃないと思うのですが。どういうふうに考えたらよろしいですか。

(櫻井総務課長)

行政手続き、事務効率化というような観点ですとか、市民の負担の軽減という意味では押印の廃止というものについてはかねてより議論があったところでございます。ただ、今回ここまで急速に進むというのは、河野大臣の発言があったからという状況でございます。

(小栗委員)

はい、ありがとうございます。

(鈴木教育長)

他によろしいでしょうか。

(鈴木教育長)

他にご意見もないようですので、日程第1第24号議案「押印の廃止に関する規則案について」につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

次に、日程第2第25号議案「名古屋市公立学校教職員人事異動基本方針について」を議題といたしますので、事務局の説明をお願いします。

(大川教職員課長)

日程第2第25号議案「名古屋市公立学校教職員人事異動基本方針」について、ご説明申し上げます。

この基本方針は、年度末におきます名古屋市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の校長、教頭、教員、事務職員、栄養教諭、学校栄養職員の異動を行うにあたり、その基本的な考え方を定めるものでございます。

今回この基本方針を見直しまして、議案の1ページにありますように、新たな「人事異動基本方針」を提案することにいたしました。

議案裏面の参考資料①の「新旧対照表」をご覧ください。

左側の令和元年度末の欄を見ていただきますと、本市教育委員会のこれまでの人事異動基本方針は、人事異動の基本的な考え方を示した「Ⅰ 基本の方針」の部分と、「Ⅱ 実施方針」、こちらは校種・職種ごとに新任、転任等の実施方法を示したものにより構成しておりました。しかし、「Ⅱ 実施方針」に記載している事項は、人事異動の具体的な進め方について定める「実施要項」で扱っている内容も多くありました。

そこで、「人事異動基本方針」においては、教育委員会としての人事異動についての基本的な考え方をより明確に示したいと考え、「人事異動基本方針」の構成を見直し、「実施方針」で取り上げていた部分は「実施要項」の中へ組み入れるとともに、「基本の方針」についても見直し、新たな「人事異動基本方針」を提案することにいたしました。

ただし、人事異動の大きな考え方や方法については、これまで実施してきたものと大きく変わるものではございません。本年度、見直しをしました観点としましては、本市教育委員会の人事異動についての考え方をより分かりやすく明確に示したこと、できるだけ一般的な文言を用いて、分かりやすくしたことでございます。

参考資料②をご覧ください。こちらは先ほどお示ししました「人事異動基本方針」を解説したものです。1段落目は今ご説明しました改訂にあたる考え方について書いてあります。2段落目はゴシック体の部分が人事異動基本方針のリード文となります。「第3期名古屋市教育振興基本計画」の基本理念をふまえ、市民の信頼と期待にこたえて、学校教育の振興を図るために、次の方針により、全市的視野に立って公正かつ適正な人事異動を実施するといたしました。

本市教育委員会では、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を「名古屋市教育振興基本計画」の基本理念として、様々な施策を推進しています。

このリード文では、未来を担う子ども達が質の高い学びによって可能性を広げ、夢や希望をもって力強く歩んでいけるような学校教育の振興を図ることを大きなねらいとして人事異動を実行することを表現しております。

また、人事異動の実施においては、基本方針をもとに策定される「人事異動実施要項」に則り、全市的視野に立ち、公正で適正に行うことに留意して進めていくことをお示ししております。

基本方針としては、3点を掲げています。

1つ目は「教職員の意欲向上及び学校教育の充実を図るため、適材を適所に配置する。」です。教職員一人一人の勤務状況、指導能力、適性等それぞれの実情等を考慮するとともに、「第3期名古屋市教育振興基本計画」に掲げる施策の推進や各学校の課題解決に向け、適材を適所に配置する人事を行います。

2つ目は「各学校の気風の刷新及び学校教育の活性化を図るため、広く人材を登用する。」です。

特別支援学級と通常学級との交流をはじめ、小中学校と特別支援学校、小中学校と幼稚園、高等学校のような校種間交流、女性や若手、ベテラン教職員の活躍等、広く人材を登用する人事を行います。

3つ目は「将来にわたる学校教育の継承及び発展を図るため、人材の育成に資する配置を行う。」です。様々な地域や異なる校種での勤務をはじめ、教職員が多様な経験を積みながら、異動によって出会う人材から知識や技術の伝承を受ける等により、教職員としての資質向上が図られていく人事を行います。

この方針を受け、今年度の人事異動における重点として、下にあります5点を掲げました。

1点目は、個別最適化された学びの提供やICTを活用した教育に資する人事の推進です。これは、本市教育委員会が特に力を入れている施策の推進に資する教育意欲の高い人材を積極的に登用していこうとするものです。

2点目は、子育て世代の働きやすさ、通勤の利便さ等ワークバランスに配慮した人事の推進です。

3点目は、女性や若手の教職員の管理職等への積極的な登用の推進です。特に女性の登用を推進したいと考えています。そのため、管理職に向かうための窓口となる教務主任候補者として女性の推薦を校長に呼びかけ、その推進を図ってまいります。

4点目は、校種間交流やインクルーシブ教育に留意した交流人事の推進です。

5点目は、ベテラン教職員の知識や技術の伝承に資する人事の推進です。

以上が基本方針についての説明となります。

続きまして、次ページの参考資料③をご覧ください。

こちらは先ほどのご説明の中で触れました人事異動の具体的な方法を定めました「人事異動実施要項」になります。これらは先ほど申しましたように昨年度まで実施方針として示されていた事項を組み入れ、人事異動基本方針に基づいて、具体的な進め方を定めたものです。

1の校園長・教頭の人事、2の教員の人事、3の栄養教諭というように、それぞれの職種に応じまして新任や配置換えの期間や方法などをより具体的に定めています。

教職員の異動は、各学校における適切・円滑な学校運営、子どもたちへの教育活動に直接関わるものでございますので、公正かつ適正を期し、慎重に進めてまいりたいと考えております。

以上で説明を終わらせていただきますが、お認めいただけましたら、この案件はこのあと記者クラブに資料提供をさせていただきたいと考えております。

以上よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

(鈴木教育長)

説明が終わりましたので、ご意見、ご質問はありませんか。

(小栗委員)

今回はこれでいいと思いますが、質問で、まず定年の延長というのはいつごろに変わりそうなのかということと、それはなぜかということと昨年度の実施要項には59歳の者を配置換えしないと明記してあったので、それに伴って今後どうするのかという質問です。

(大川教職員課長)

定年延長につきましては、一度、法案が上程され、その後いったん廃案になっているという状態で、具体的に何か進めるという状況ではないわけですがけれども、ただ十分そういったことも想定されますので、当初の予定のスケジュールで進みますと近々で準備しなければならないということになっております。そうしたときには当然段階的に延長されていきますので、それに沿って、この59歳の者は配置換えしないという項目についてもそれに応じて延びていくということになるかと考えております。

(西淵委員)

ありがとうございます。人事異動基本方針のところ非常にわかりやすくなったと思います。率直に。

重点項目を入れていただいて、これは今までにない画期的なことだと僕は思っております。一番基本になるところにその最初の学びの提供とか個別最適化された学びの提供、ICTとか、本市が学習で目指すものを取り入れて、そういうものに応じた人事をしよう。非常に学校教育を改革するのにあたって、前向きに人事的なものをバックアップしよう重点として示されている。

それから二つ目も働き方改革、ワークライフバランスなどについても書いていただいている。それから女性若手管理職、校種間交流ですね、さらにインクルーシブ教育、それから若手教員が増えてきて中堅が少ないという教職員の人事構成上の課題をなんとかして学校ごとに解決しよう。ベテランの知識を持った人がいたら、若い人がものすごく多い学校になったときには、そこへ知識を持った方を動かしよう。こういうことが示されていて、これは非常に大きい、画期的だと思う。私もこういう経験があつて、長年この方針は頑とも変えられなかったものをこうやって中に入れたことはすごいと思う。やっぱり教職員の人事的なものを改革しながら学校教育を改善していくという方針を強く打ち出されて本当にすごいなと思います。

一方でこれをもらう方にとってみるとですね、じゃあ私、子育てで働きやすい世代だから、すぐこういうところに換えてと。近いところへ。そういうことになってしまうと、我々

が求めているものと逆行してくる可能性があるわけですね。言い方は悪いですが、全市的な視野に立ってですね、やっぱりそれぞれ教職員の配置を考えていくということが大事だなと思います。例えば私インクルーシブで校種間交流で中学校だったんだけど、大変だから小学校にいくと。こうやって推進と書いてあるからそれを逆手にとって、こういう方針だろうと。そういうふうなものではないと私は思う。きちんとした教育委員会の方針を具体的に示した重点だけでも、やっぱり適材適所もあるし色々な条件もあるものですから、そのへんは実際の人事のところまで十分配慮してやっていただきたいなと思います。

本当からいうと、今年はこれでと小栗さんがおっしゃったとおりになんですが、実施要項の中にですね、もう少しそのへんの中身をこれから具体的なところへ改善していってあげるとより実効性が伴うし、今言った私の心配みたいなものが防げるんじゃないかなと思うので、また来年度に向けて色々ご検討いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(大川教職員課長)

ありがとうございます。

今ご指摘いただきました点を十分に踏まえ、全市的な視野に立ってまずは公正かつ適正に進めてまいりたいと考えております。

そして、例として出していただきました個の事情については、できるだけ配慮はいたしたいと考えておりますが、やはり全市的な視野でということ念頭に置きまして、進めてまいります。

それから人事異動実施要項等にこういったことに反映させることにつきましては、来年度以降の課題として改善の方向として受け止めさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(西淵委員)

よろしく願いいたします。

(船津委員)

ご説明ありがとうございます。

そんなにこれが歴史的なことだということで勉強になりました。

今回、実施要項が区別されて整理されているということなんですけども、資料の③の令和2年度末人事異動実施要項は昨年度と何か大きく変わるとか、ここが変わりましたみたいなところがあったらご説明いただきたいなと思います。

(大川教職員課長)

内容として大きく変わるころはございません。昨年度基本方針の中に一部入っており

ましたものをこの中に組み入れたものはありますけれども、基本方針と実施要項をまとめたところで内容として大きく変わるものはございません。

(船津委員)

ありがとうございます。

(鈴木教育長)

中谷委員よろしいですか。

(中谷委員)

ありがとうございました。

基本方針がよくわかって、校長、管理職だけじゃなく一般教員や市民の方にもこれで届くものになったかと思いました。その上で資料②についてなんですが、こちらの方が先ほどご説明のうえで人事異動基本方針を解説したものと言っていたんですが、この書面がタイトルが無いものになっていまして、基本方針とともにこれが解説としていくということでありましたら、ちょっと細かいですがタイトルをつけて、そのうえで残していただくという形で整理していただくといいのかなと思いましたがいかがでしょうか。

(大川教職員課長)

こちらにつきましては、私どもの想定といたしましては、この教育委員会用の説明資料として添付させていただいたものということで、実際にこのあと各校長に説明をさせていただく折には、口頭でこの内容を説明させていただきたいと考えております。

(中谷委員)

じゃあ題目はつけないということですか。

この書類の位置付けがわかりにくいと思いました。

(大川教職員課長)

申し訳ありませんが、各学校に配布する際にはこちらのものは付けないということで想定をしております。この教育委員会での説明資料ということで配布させていただいておりますので、ご理解いただければと思います。

(中谷委員)

じゃあこの紙が校長先生のところにいくわけではないということでもよろしいでしょうか。教育委員会の説明のための紙ということで。

(大川教職員課長)

委員ご指摘のとおりでございます。

(中谷委員)

了解しました。口頭でのご説明ということで理解しました。

ありがとうございました。

(鈴木教育長)

ありがとうございます。

他にご意見もないようですので、日程第2第25号議案「名古屋市公立学校教職員人事異動基本方針について」につきましては、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(鈴木教育長)

ご異議なしと認め、そのように取り扱わせていただきます。

(鈴木教育長)

次に、議事日程第3に移ります。これ以降の議事は非公開となりますので、よろしくお願いたします。

日程第3から日程第4は非公開とされたため、名古屋市教育委員会会議規則第12条の規定により、会議録は別途作成。

午後3時36分終了